

平成 27 年

青森県海面漁業に関する調査結果書

(属地調査年報)

青森県農林水産部

平成二十七年

青森県海面漁業に関する調査結果書（属地調査年報）

青森県農林水産部

（背表紙）

は し が き

青森県海面漁業に関する調査は、青森県統計調査条例に基づき 22 市町村を対象に毎月実施しているものです。

このたび、平成 27 年の本県における海面漁業の実態を魚種別、漁業種類別及び市町村別に、漁獲数量、漁獲金額について属地ベースでとりまとめましたので、結果書（年報）として公表します。

この結果書が水産行政のみならず広く一般に活用され、今後の本県における水産業振興上の基礎資料として役立てば幸いです。

おわりに、この調査の実施に際し、ご協力をいただきました関係各位に対し心から感謝を申し上げます。

平成 28 年 3 月

青森県農林水産部長 成田 博

目 次

調査の要領	1
-------	---

結果の概要	2
-------	---

対前年比較表

第 1 表	魚種別漁獲数量・金額比較表（対前年比）	10
第 2 表	魚種別漁獲数量・金額比較表（対 5 カ年平均比）	12
第 3 表	月別漁獲数量比較表	14
第 4 表	月別漁獲金額比較表	14
第 5 表	分類別漁獲数量比較表	15
第 6 表	分類別漁獲金額比較表	15
第 7 表	主な魚種別漁獲数量比較表	16
第 8 表	主な魚種別漁獲金額比較表	17
第 9 表	漁業種類別漁獲数量比較表	18
第 10 表	漁業種類別漁獲金額比較表	19
第 11 表	市町村別漁獲数量比較表	20
第 12 表	市町村別漁獲金額比較表	21

県計表

第 1 表	年 総 括 表	22
第 2 表	月 別 表	36

市町村計表

第 1 表	魚種別漁獲数量及び漁獲金額	42
第 2 表	漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額	66
第 3 表	月別漁獲数量及び漁獲金額	71

調 査 の 要 領

1. 調査事項

- (1) 魚種別漁業種別漁獲数量
- (2) 魚種別漁業種別漁獲金額

2. 調査時期

毎 月

3. 調査範囲

本県内に水揚げされたすべての海面魚介類（運搬魚介類を除く。）

4. 調査方法

調査員が担当区域内の海面漁業協同組合、魚市場、その他の団体等を毎月巡回し、これらの団体等において作成した台帳等から資料を収集する方法

5. 利用上の注意

この調査は属地計上です。属地計上とは、生産物が水揚げされた地域に漁獲量等を計上することをいいます。

また、数値は四捨五入してあるので、各表や統計表中の構成比の和は100%にならない場合があります。

結果の概要

1. 漁獲数量及び漁獲金額

(1) 概況

平成 27 年の青森県の漁獲数量は 250,029 トン、漁獲金額は 529 億 2,754 万円となった。これを前年と比較すると漁獲数量で 31,385 トン（14.4%）増加し、漁獲金額では 49 億 380 万円（10.2%）増加した。

(2) 主な増減要因

漁獲数量が前年と比較して増加した主な要因は、「ほたてがい（半成貝/新貝/成貝）」、「さば」等の漁獲数量が増加したことによるものである。

漁獲金額が前年と比較して増加した主な要因は、「ほたてがい（半成貝/新貝/成貝）」、「ぶり」等の漁獲金額が増加したことによるものである。

(3) 過去 5 年間の平均との比較

過去 5 年間の平均と比較して、漁獲数量で 35,437 トン（16.5%）増加し、漁獲金額では 59 億 4,781 万円（12.7%）増加した。

漁獲が好調であった魚種は「まいわし」（漁獲数量対平年比 204.1%）、「ほたてがい」（162.9%）、「さば」（127.1%）等であった。

一方、漁獲が低調であった魚種は「あかいか」（35.3%）、「すけとうたら」（42.4%）、「するめいか」（66.4%）等であった。

(4) 過去 10 年間の平均との比較

平成 27 年の漁獲数量及び漁獲金額は、過去 10 年間の平均と比較すると数量で 1,316 トン（0.5%）、金額で 21 億 2,114 万円（4.2%）、それぞれ上回っていた（図 1、表）。

表 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

年次	漁獲数量		漁獲金額	
	数量(トン)	対前年増減率(%)	金額(百万円)	対前年増減率(%)
昭和63年	841,511		96,007	
平成5年	554,744		83,347	
平成10年	368,219		73,875	
平成17年	289,662		56,914	
平成18年	278,430	△ 3.9	54,675	△ 3.9
平成19年	295,695	6.2	57,217	4.6
平成20年	261,354	△ 11.6	53,171	△ 7.1
平成21年	289,027	10.6	51,187	△ 3.7
平成22年	246,690	△ 14.6	51,825	1.2
平成23年	194,265	△ 21.3	46,118	△ 11.0
平成24年	227,507	17.1	44,272	△ 4.0
平成25年	185,855	△ 18.3	44,660	0.9
平成26年	218,644	17.6	48,024	7.5
平成27年	250,029	14.4	52,928	10.2
平成17年～平成26年 までの平均 (A)	248,713		50,806	
平成27年／(A)%	100.5 %		104.2 %	

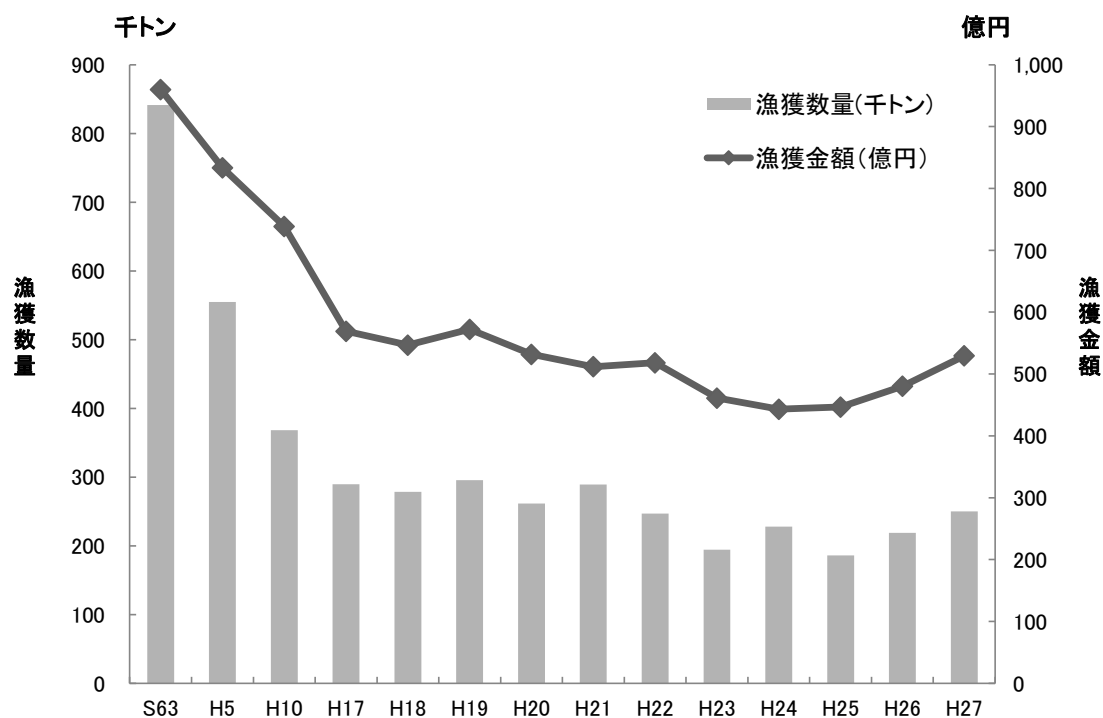


図1 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

2. 月別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 月別漁獲数量

平成 27 年の漁獲数量を月別にみると、11 月が 37,035 トンで最も多く全体の 14.8%を占め、次いで 7 月の 36,785 トン (14.7%)、10 月の 28,643 トン (11.5%) となっている (図 2、第 3 表)。

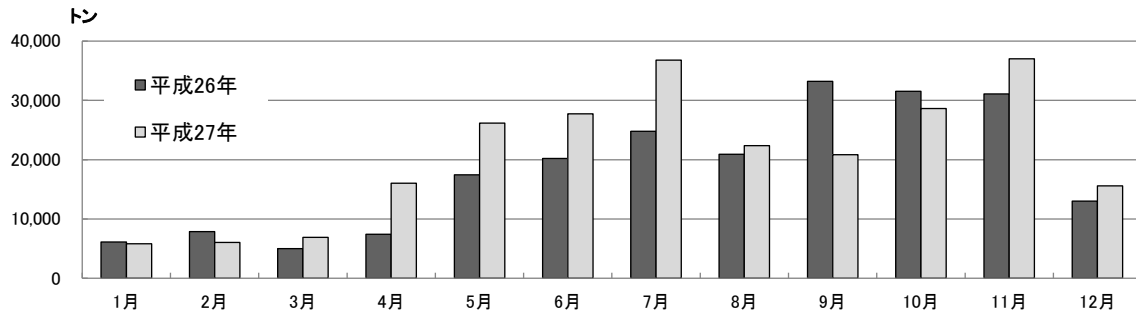


図 2 月別漁獲数量

(2) 月別漁獲金額

平成 27 年の漁獲金額を月別にみると、11 月が 70 億 6,336 万円で最も多く全体の 13.3%を占め、次いで 7 月の 68 億 8,263 万円 (13.0%)、12 月の 54 億 1,018 万円 (10.2%) となっている (図 3、第 4 表)。

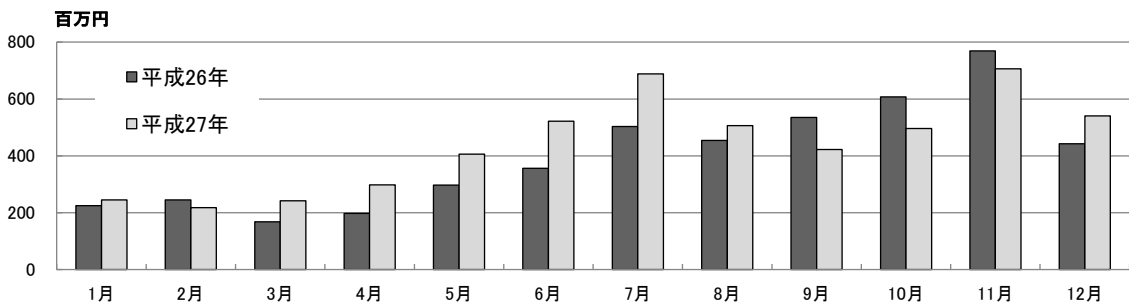


図 3 月別漁獲金額

3. 魚種別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 分類別漁獲数量及び漁獲金額

①分類別漁獲数量

漁獲数量について魚類、貝類等の分類別にみると、ほたてがい等の「貝類」が103,786トンで最も多く全体の41.5%を占め、次いでさば等の「魚類」99,788トン(39.9%)、「その他の水産動物」41,127トン(16.4%)、「藻類」5,327トン(2.1%)の順となっている。

これを前年と比較すると、「魚類」は1,017トン(1.0%)増加、「貝類」は38,662トン(59.4%)増加、「その他の水産動物」は11,371トン(21.7%)減少、「藻類」は3,077トン(136.7%)増加した(図4、第5表)。

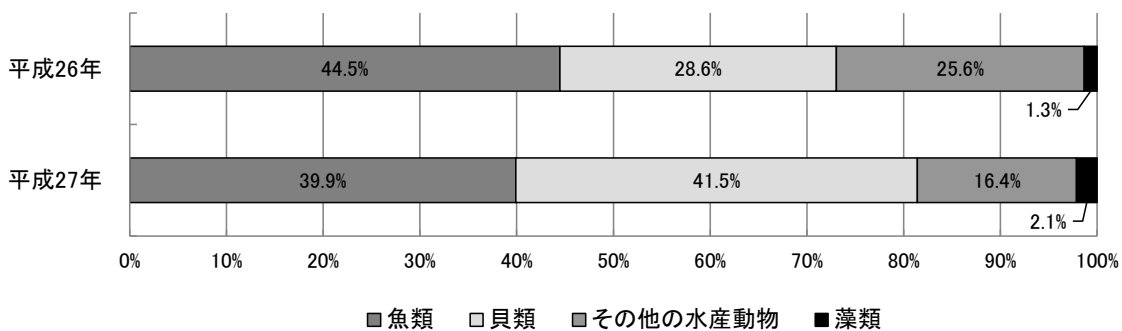


図4 分類別漁獲数量の構成比

②分類別漁獲金額

漁獲金額を分類別にみると、「貝類」が176億5,564万円で最も多く全体の33.4%を占め、次いで「魚類」175億5,734万円(33.2%)、「その他の水産動物」165億6,899万円(31.3%)、「藻類」11億4,556万円(2.2%)の順となっている。

これを前年と比較すると、「魚類」は7億4,985万円(4.1%)減少、「貝類」は73億2,876万円(71.0%)増加、「その他の水産動物」は22億3,979万円(11.9%)減少し、「藻類」は5億6,469万円(97.2%)増加した(図5、第6表)。

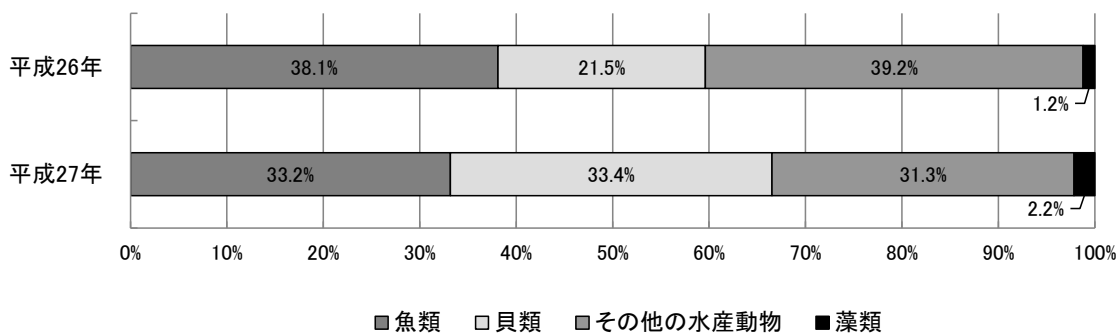


図5 分類別漁獲金額の構成比

(2) 主な魚種別漁獲数量及び漁獲金額

①主な魚種別漁獲数量

主な魚種別の漁獲数量及び構成比をみると、「ほたてがい」102,751トン（構成比41.1%）、「さば」57,227トン（22.9%）、「するめいか」32,776トン（13.1%）、「いわし類」11,203トン（4.5%）、「ぶり」9,802トン（3.9%）、「たら」5,359トン（2.1%）などとなっている。

これを前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な魚種及び増加数量は「ほたてがい」38,498トン（対前年増加率59.9%）、「さば」6,738トン（13.3%）、「ぶり」3,977トン（68.3%）、「こんぶ」3,094トン（189.5%）となっている。

一方、漁獲数量が減少した主な魚種及び減少数量は「するめいか」10,295トン（対前年減少率23.9%）、「まいわし」3,307トン（24.9%）、「すけとうたら」3,202トン（59.3%）、「さんま」2,000トン（99.9%）となっている（図6、第1表、第7表）。

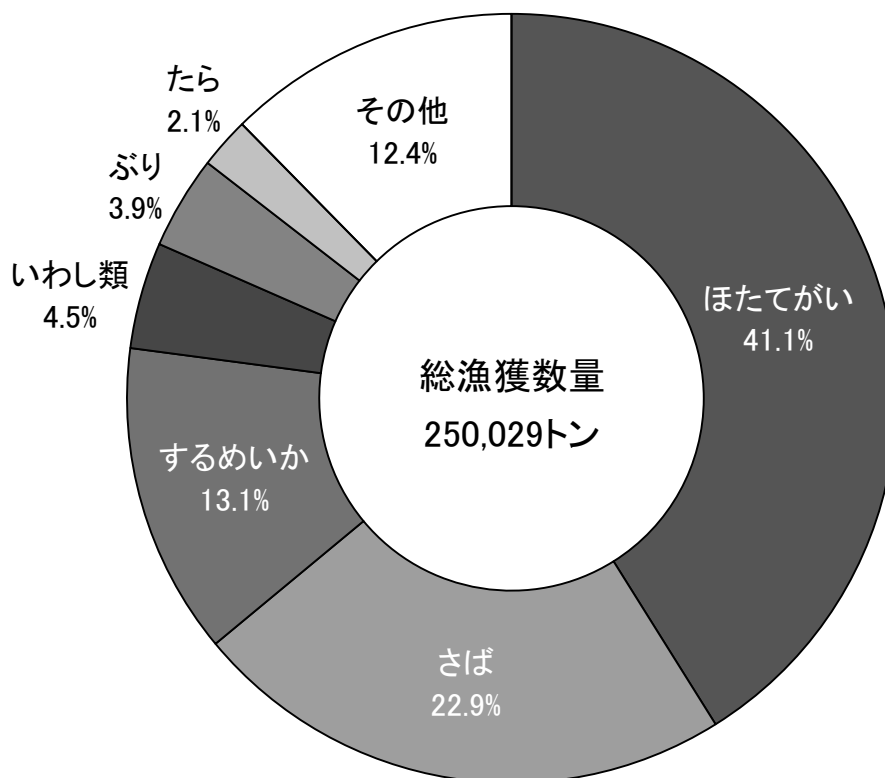


図6 主な魚種別漁獲数量の構成比

②主な魚種別漁獲金額

主な魚種別の漁獲金額及び構成比をみると、「ほたてがい」168億5,750万円（構成比31.8%）、「するめいか」102億1,444万円（19.3%）、「さば」40億6,002万円（7.7%）、「なまこ」27億4,503万円（5.2%）、「まぐろ」25億4,463万円（4.8%）、「さけ」19億2,458万円（3.6%）などとなっている。

これを前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な魚種及び増加金額は「ほたてがい」71億1,446万円（対前年増加率73.0%）、「ぶり」8億6,050万円（92.7%）、「こんぶ」5億5,011万円（139.5%）、「やりいか」4億6,367万円（58.4%）などとなっている。

一方、漁獲金額が減少した主な魚種及び減少金額は「するめいか」21億1,942万円（対前年減少率17.2%）、「さば」12億2,697万円（23.2%）、「あかいか」6億4,570万円（42.2%）、「きちじ」3億612万円（60.9%）などとなっている（図7、第1表、第8表）。

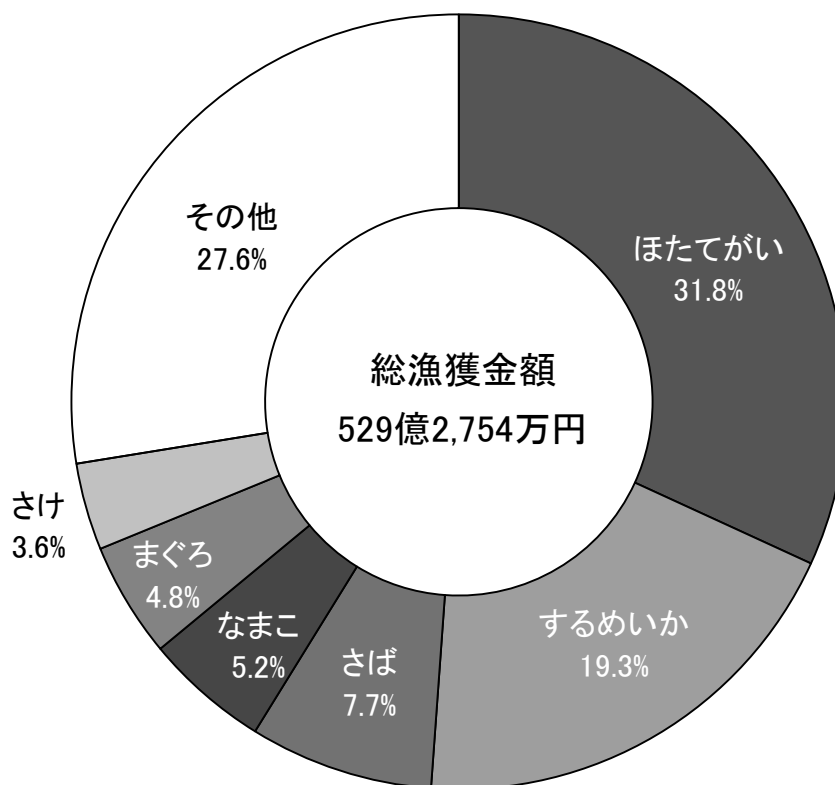


図7 主な魚種別漁獲金額の構成比

4. 漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 漁業種類別漁獲数量

主な漁業種類別の漁獲数量及び構成比をみると、「養殖業」が100,987トン（構成比40.4%）で最も多く、次いで「まき網漁業」76,883トン（30.7%）、「いか釣漁業」23,606トン（9.4%）となっている。

これを前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な漁業種類及び増加数量は「養殖業」38,917トン（対前年増加率62.7%）、「まき網漁業」6,674トン（9.5%）、「採藻漁業」3,075トン（142.1%）などとなっている。

一方、漁獲数量が減少した主な漁業種類及び減少数量は、「沖合底曳網漁業」10,383トン（対前年減少率44.4%）、「いか釣漁業」5,013トン（17.5%）「棒受網漁業」1,468トン（95.4%）などとなっている（第9表）。

(2) 漁業種類別漁獲金額

主な漁業種類別の漁獲金額及び構成比をみると、「養殖業」が164億**3,825**万円（構成比31.1%）で最も多く、次いで「いか釣漁業」87億9,005万円（16.6%）、「まき網漁業」65億5,863万円（12.4%）となっている。

これを前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な漁業種類及び増加金額は、「養殖業」71億**3,491**万円（対前年増加率76.7%）、「採藻漁業」5億5,741万円（98.5%）「小型定置網漁業」3億**4,749**万円（13.0%）などとなっている。

一方、漁獲金額が減少した主な漁業種類及び減少金額は、「沖合底曳網漁業」20億8,198万円（対前年減少率38.9%）、「まき網漁業」7億4,429万円（10.2%）、「大型定置網漁業」3億4,726万円（23.3%）などとなっている（第10表）。

5. 市町村別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 市町村別漁獲数量

市町村別漁獲数量の構成比をみると、八戸市が111,419トンで最も多く全体の44.6%を占め、次いで平内町20.0%、青森市7.0%、むつ市5.2%、外ヶ浜町4.8%の順となっている。

これを前年と比較してみると、漁獲数量が増加したのは、平内町20,302トン(対前年増加率68.1%)、青森市7,130トン(69.0%)、外ヶ浜町3,281トン(37.9%)、野辺地町2,092トン(65.9%)ほか13市町村となっている。

一方、漁獲数量が減少した市町村は、八戸市8,000トン(対前年減少率6.7%)、三沢市563トン(14.6%)ほか3市町村となっている(図8、第11表)。

(2) 市町村別漁獲金額

市町村別漁獲金額の構成比をみると、八戸市が178億359万円で最も多く全体の33.6%を占め、次いで平内町17.0%、むつ市8.5%、東通村6.0%、外ヶ浜町4.7%の順となっている。

これを前年と比較してみると、漁獲金額が増加した市町村は、平内町36億8,688万円(対前年増加率69.5%)、青森市9億3,561万円(62.5%)、むつ市7億1,664万円(19.0%)、野辺地町6億7,035万円(77.5%)ほか12市町村となっている。

一方、漁獲金額が減少した市町村は、八戸市31億4,977万円(対前年減少率15.0%)、深浦町1億4,223万円(6.2%)、三沢市1億1,825万円(8.7%)ほか3市町村となっている(図9、第12表)。

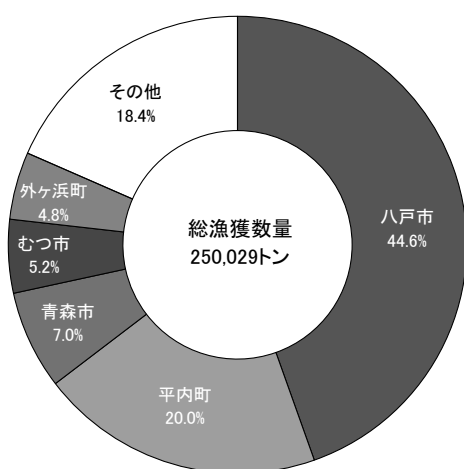


図8 市町村別漁獲数量の構成比

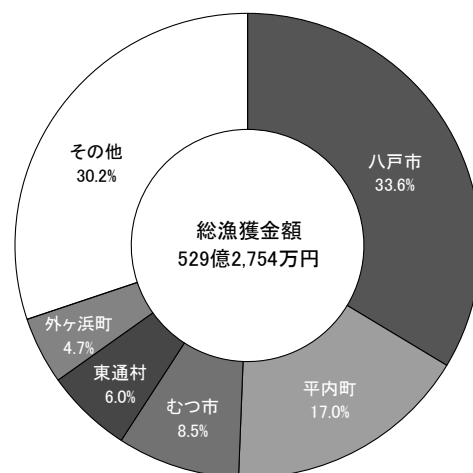


図9 市町村別漁獲金額の構成比